



黒宮 喜四美 議員

タウンミーティング
を開催してはどうか

問

市長は施政方針で、市民による、市民のための市の創造を大きな柱として、市民の生活の安定と向上に取り組んでいくと述べた。

そこで、市民の声を直接聞く機会を設け、また市長の考え方を市民に理解してもらおうとタウンミーティングが必要だと思つが、19年度の開催を考えているか。

1月までには3カ所で開催したい

答 市長

まだ具体的な日程は考えていないが、1月までには少なくとも市内3カ所（四山地区1、弥富地区2カ所）で市政懇談会をしていきたいと考えている。

小学校区単位に会場を増やす考えは

問

稲沢市は23小学校区で行っている。小学校区単位に会場を増やす考えはないか。

自治会単位のミニ集会を考えている

答 市長

タウンミーティングのほかに、自治会単位で積極的に市民と話す形のミニ集会を考えている。

これはもう少し頻度を持って、要望があれば、または市が声をかけながら進めたい。

友引でも火葬は可能か

問

火葬場について、次の事項を聞く。

- (1) 休場日はいつか。
- (2) 火葬日数。
- (3) 休場日の変更の可否。
- (4) 知人は遺体保存が困難なことから、友引でも可能な蟹江町で火葬したが、町外者で使用料が高額になった。

将来的に、友引の火葬が必要になったとき、休場日を返上して火葬するという考えと解釈してよいか。

答 環境課長

- (1) 休場日は火葬炉の修理・点検が必要であり、火葬場条例規則と告示により、友引と元日と定めている。
- (2) 18年度は176日、人数は265人。
- (3) 遺族からの申し出があり、かつ、やむを得ない理由で市長が認める場合、火葬の実施ができる。

市の施設利用が筋ではないかと思う

答 市長

(4) 火葬が必要な事情はよく分かるので、市の施設を利用するのが筋ではないかと思う。

ただし、事前に話をもらわないと措置ができないので、大変難しい折り合いかもしれないが、そういう形の中で進めたい。



▶市営火葬場（鍋田町地内）